《 紫外線カットに関して 》

■ 紫外線について

電波、光線、放射線などの総称を電磁波といいます。電磁波はその周波数によって以下のとおり分類されます。
紫外線とはこの電磁波の中の光線の中のある一定の周波数の部分をさしたものです。

［旭硝子板ガラス建材総合カタログ 技術資料編 6－1－1から引用］

では、紫外線とは？

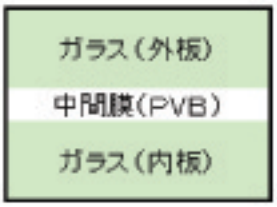
一般に言われる紫外線とは光線の中に分類され、その波長が、可視光線より短い電磁波の総称のこと。
波長は380nm（ナノメートル：1nmは100万分の1ミリメートル）以下のものをさします。人間の目には見えませんが、
太陽光などに含まれ、日焼けや殺菌の作用を持つ一方で、各種化学反応を引き起こすこともあります。
近年は、皮膚がんの原因となる場合も指摘され、紫外線をカットすることへの関心が高くなりつつあります。

■ ガラスの紫外線カット率

合わせガラス
（3ミリ＋中間膜30ミル＋3ミリ）

合わせガラスは、その中間膜に使われているポリビニールブチラール（PVB）の
機能により紫外線をカットすることができます。左の図のようにPVB中間膜の
合わせガラスは紫外線（～380nmの波長）のうち99．9%をカットします。
これは1枚ガラスのカット率約26%に比べて、その差は約73%になります。
一般的に家の中でも、窓辺のぬいぐるみや壁や床が変色するのは、紫外線による
影響が大きいと考えられています。弊社の国内生産品、海外生産品全ての
自動車用フロントガラスの中間膜にはPVBを使用しています。
（ただし、色あせの原因は、紫外線の他にも様々な原因があるため、カット率は色あせを
防ぐ保証値とは異なります。ご了承ください）　※AGCホームページより抜粋

《弊社フロントガラス断面図》



※海外AGCグループ製品ロゴマーク一例

LAMISAFE　LAMISAFE　LAMISAFE TECH M314 AS1